

2024

IR 調査報告書

(2023 年度 分析報告 学外公表版)

調査方法 : マークシート方式

調査内容 : (株)リアセック PROG テスト N 版(看護版)

調査回答者 : 介護福祉学科 1 年生・2 年次

調査時期 : 1 年次 2 年次 9 月

分析項目

本学学生の評価

- リテラシー : 問題解決力(情報収集力、情報分析力、課題発見力、構
想力)
言語処理能力、非言語処理能力
- コンピテンシー(対人基礎力、対自己基礎力、対課題基礎力)

藤沢 緑子

日本赤十字秋田短期大学

内容

本調査報告書について.....	2
調査報告書 概要.....	3
PROG テスト テスト概要.....	4
全体概要.....	8
各尺度の評価について(「分析報告書 20240402」より).....	0
2022 年度 PROG テスト(1,2 年次) 結果.....	1
【リテラシー(4 つの力・処理能力)】.....	2
【コンピテンシー(3 つの力・総合)】.....	4
【コンピテンシー・9 つの要素】.....	6
【コンピテンシー：親和力】.....	8
【コンピテンシー：協働力】.....	10
【コンピテンシー：統率力】.....	12
【コンピテンシー：感情制御力】.....	14
【コンピテンシー：自信創出力】.....	16
【コンピテンシー：行動持続力】.....	18
【コンピテンシー：課題発見力】.....	20
【コンピテンシー：計画立案力】.....	22
【コンピテンシー：実践力】.....	24
日本赤十字秋田看護大学・IR 推進室.....	26

本調査報告書について

教育の質の向上のために、学生のリテラシー及びコンピテンシーの把握を目的とし実施する。

実施にあたっては、株式会社リアセック様の開発した PROG (Progress Report On Generic skills) の看護師向けテスト (N 版) を用いて実施した。

該当調査は、株式会社リアセック及び河合塾が共同開発したジェネリックスキルの成長を測定するプログラムである。テスト実施後には学生向けに解説会を実施し、学生一人一人にフィードバックされている。自身の強みと弱みについて把握した後、スキル向上の方法について学ぶ機会となっている。

調査項目としては、リテラシー（問題解決力：情報収集力、情報分析力、課題発見力及び言語処理能力、非言語処理能力）及びコンピテンシー（対人基礎力、対自己基礎力、対課題基礎力）がある。

調査報告書 概要

テスト概要

PROG は、河合塾とリアセックが共同開発したジェネリックスキルの成長を支援するアセスメントプログラムです。専攻・専門に関わらず、社会で求められる汎用的な能力・態度・志向=ジェネリックスキルを測定・育成します。テストでは、リテラシーとコンピテンシーの2つの観点から測定し、自身の現状を客観的に把握することができます。今年度より当テストを用いて学生評価を実施することとしております。

測定内容

リテラシーでは、新しい問題やこれまで経験のない問題に対して知識を活用して課題を解決する力を、情報収集力や情報分析力など6つに分類したうち、4つの能力で測定。またコンピテンシーでは、周囲の状況に上手に対応するために身につけた意志決定の特性や行動スタイルを確認します。

全体概要

テストの実施

- ・受験日 2023年2月 介護1年次(n=10)
2023年2月 介護2年次(n=21)

PROG テスト テスト概要

テスト概要

PROG は、河合塾とリアセックが共同開発したジェネリックスキルの成長を支援するアセスメントプログラムです。専攻・専門に関わらず、社会で求められる汎用的な能力・態度・志向=ジェネリックスキルを測定・育成します。テストでは、リテラシーとコンピテンシーの2つの観点から測定し、自身の現状を客観的に把握することができます。

 リテラシー	 コンピテンシー
選択式	選択式
選択30問 ※15年度までの問題は選択式28問、 記述式2問	195問 ・両側選択方式195問
45分	40分
(1)問題解決力 情報収集力、情報分析力、 課題発見力、構想力	対人基礎力、對自己基礎力、 対課題基礎力
(2)言語処理能力、 非言語処理能力	

測定内容

リテラシーでは、新しい問題やこれまで経験のない問題に対して知識を活用して課題を解決する力を、情報収集力や情報分析力など6つに分類したうち、4つの能力で測定。またコンピテンシーでは、周囲の状況に上手に対応するために身につけた意志決定の特性や行動スタイルを確認します。

「実践的に問題を解決に導く力」リテラシー

リテラシーについては下記の4つの能力に関して「低(Lv1-3)、中(Lv4-5)、高(Lv6-7)」にて判定される。

1.情報収集力

課題発見・課題解決に向けて、幅広い観点から適切な情報元を見定め、適切な手段を用いて情報を収集・調査し、それらを適切に整理・保存する力

2.情報分析力

事実・情報を思い込みや憶測ではなく、客観的にかつ多角的に整理・分類し、それらを統合して隠れた構造をとらえ、本質を見極める力

3.課題発見力

様々な角度、広い視野から現象や事実をとらえ、その背景に隠れているメカニズムや原因について考察し、解決すべき課題を発見する力

4.構想力

様々な条件・制約を考慮しながら問題解決までのプロセスを構想し、その過程で想定されるリスクや対処方法を構想する力

「周囲の環境と良い関係を築く力」コンピテンシー

コンピテンシーにおいては下記の3つの能力に関して「低(Lv1-2)、中(Lv3-4)、高(Lv5-7)」にて判定される。

1.対人基礎力

・親和力

円満な人間関係を築く（親しみやすさ・気配り・対人興味・多様性理解・人脈形成など）

・協働力

協力的に仕事を進める（役割理解、連携行動・相互支援・相談・指導・他者の動機づけなど）

- ・統率力

場を読み、目的に向かって組織を動かす（意見を主張する・創造的な討議・意見の調整・交渉・説得など）

2.対課題基礎力

- ・課題発見力

問題の所在を明らかにし、必要な情報分析を行う（情報収集・本質理解・原因分析など）

- ・計画立案力

問題解決のための効果的な計画を立てる（目標設定・シナリオ構築・計画評価・リスク分析など）

- ・実践力

効果的な計画に沿った実践行動をとる（実践行動・修正・調整・検証・改善など）

3.対自己基礎力

- ・感情制御力

気持ちの揺れをコントロールする（セルフアウェアネス・ストレスコーピング・ストレスマネジメントなど）

- ・自信創出力

ポジティブな考え方やモチベーションを維持する（独自性理解・自己効力感・楽観性・機会による自己変革など）

- ・行動持続力

主体的に動き、良い行動を習慣づける（学習行動を含む）（主体的行動・完遂・良い行動の習慣化など）

参照) 株式会社リアセック 「PROG テストについて」

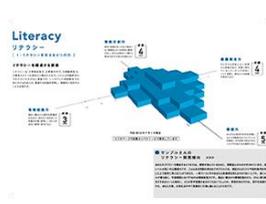
<https://www.riasec.co.jp/prog/test.html>

なお、テスト実施後には受験した各学生に対して個別レポートを配布している。また、リアセックご担当者様をお招きし、解説会を実施している。

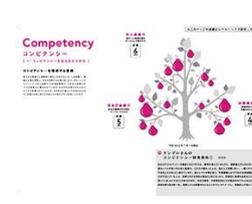
その機会を通して、学生は自身に関する強み、弱みを理解し、改善向上のための行動について考えている。また、3年次生においては就職活動に向けた良い内省の機会となっている。



全体理解



リテラシー理解



コンピテンシー詳細報告

画像参照) 株式会社リアセック 「PROG テストについて」
<https://www.riasec.co.jp/prog/test.html>

全体概要

テストの実施

- ・受験日 2023年2月 介護1年次(n=10)
2023年2月 介護2年次(n=21)

各尺度の評価について(「分析報告書 20240402」より)

リテラシー総合

凡例 (リテラシー総合)			
低 (Lv.1-3)	中 (Lv.4-5)	高 (Lv.6-7)	有意差は認められない
●基準集団の分布と傾向が異なる場合 (有意確率30%未満)			
低 (Lv.1-3)	中 (Lv.4-5)	高 (Lv.6-7)	低・中位層が多く、平均が基準値より低い (問題が内在している可能性がある)
低 (Lv.1-3)	中 (Lv.4-5)	高 (Lv.6-7)	中・高位層が多く、平均が基準値より高い

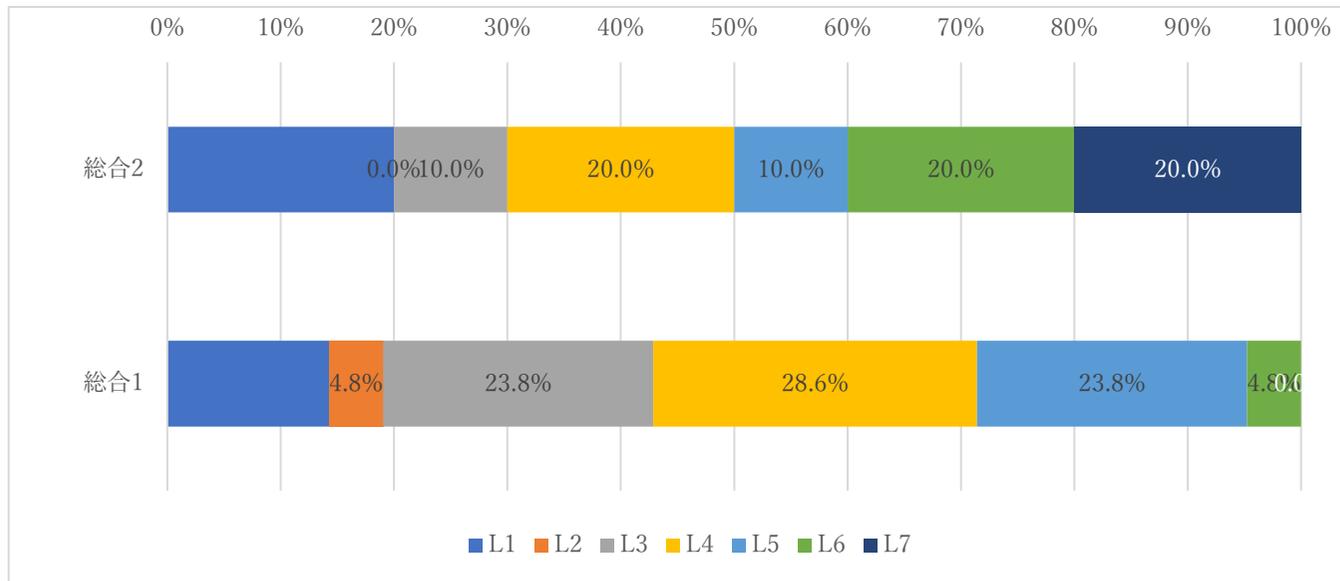
コンピテンシー総合

凡例 (コンピテンシー総合・大分類)			
低 (Lv.1-2)	中 (Lv.3-4)	高 (Lv.5-7)	有意差は認められない
●基準集団の分布と傾向が異なる場合 (有意確率30%未満)			
低 (Lv.1-2)	中 (Lv.3-4)	高 (Lv.5-7)	低・中位層が多く、平均が基準値より低い (問題が内在している可能性がある)
低 (Lv.1-2)	中 (Lv.3-4)	高 (Lv.5-7)	中・高位層が多く、平均が基準値より高い

2022 年度 PROG テスト(1,2 年次) 結果

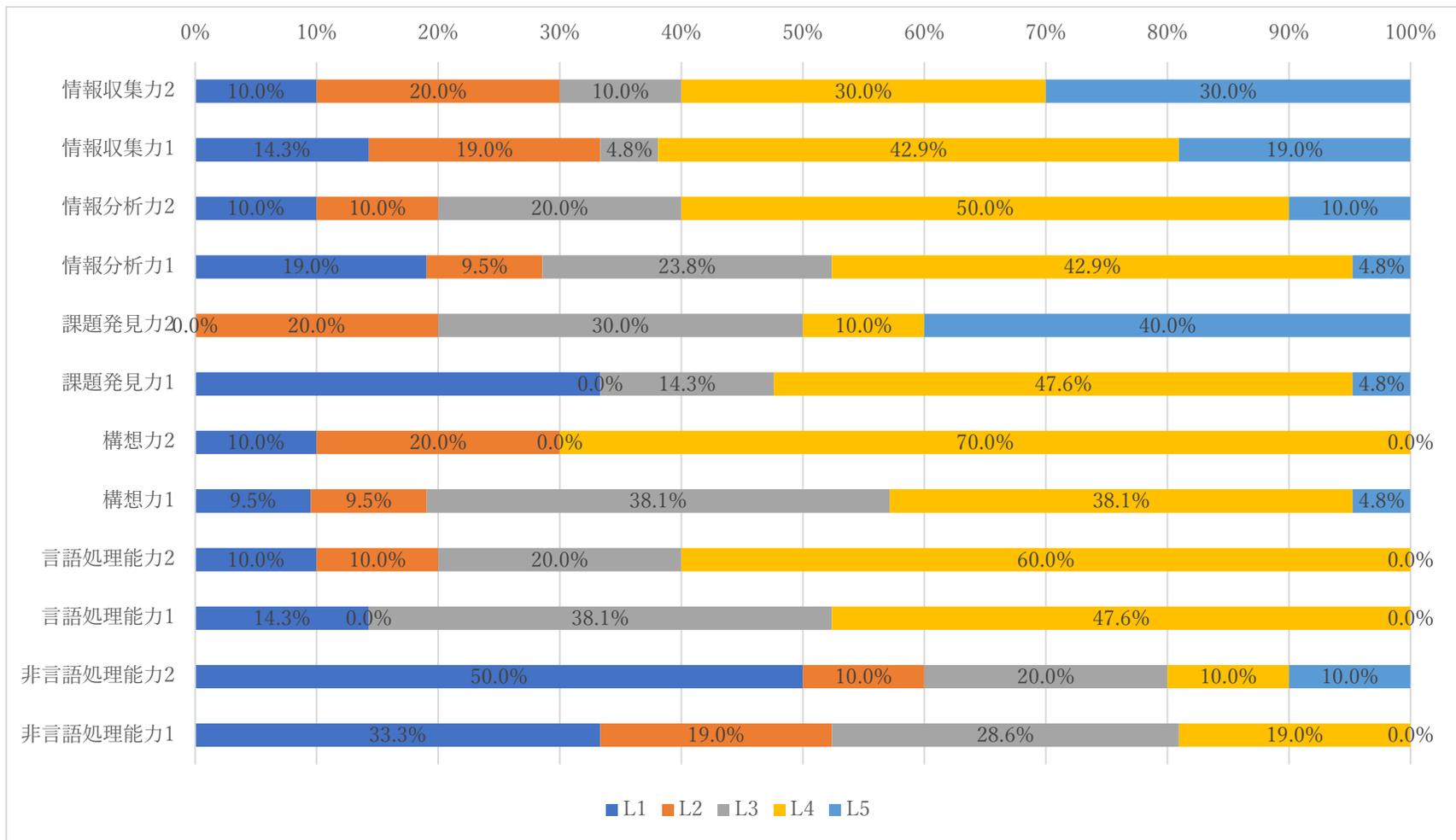
【総合】

	L1	L2	L3	L4	L5	L6	L7	
総合2	2	0	1	2	1	2	2	10
総合1	3	1	5	6	5	1	0	21



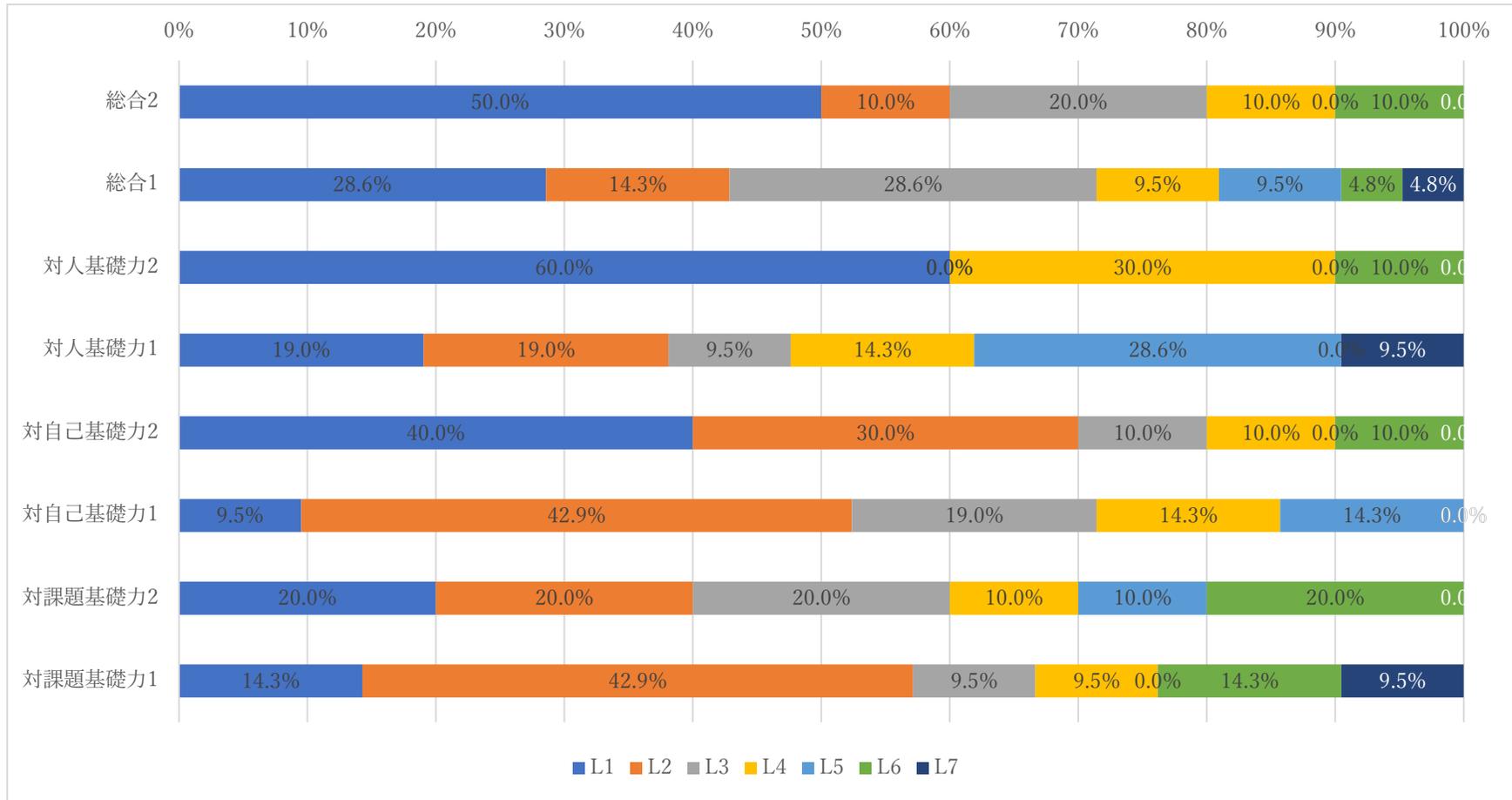
【リテラシー(4つの力・処理能力)】

	L1	L2	L3	L4	L5	
情報収集力2	1	2	1	3	3	10
情報収集力1	3	4	1	9	4	21
情報分析力2	1	1	2	5	1	10
情報分析力1	4	2	5	9	1	21
課題発見力2	0	2	3	1	4	10
課題発見力1	7	0	3	10	1	21
構想力2	1	2	0	7	0	10
構想力1	2	2	8	8	1	21
言語処理能力2	1	1	2	6	0	10
言語処理能力1	3	0	8	10	0	21
非言語処理能力2	5	1	2	1	1	10
非言語処理能力1	7	4	6	4	0	21



【コンピテンシー(3つの力・総合)】

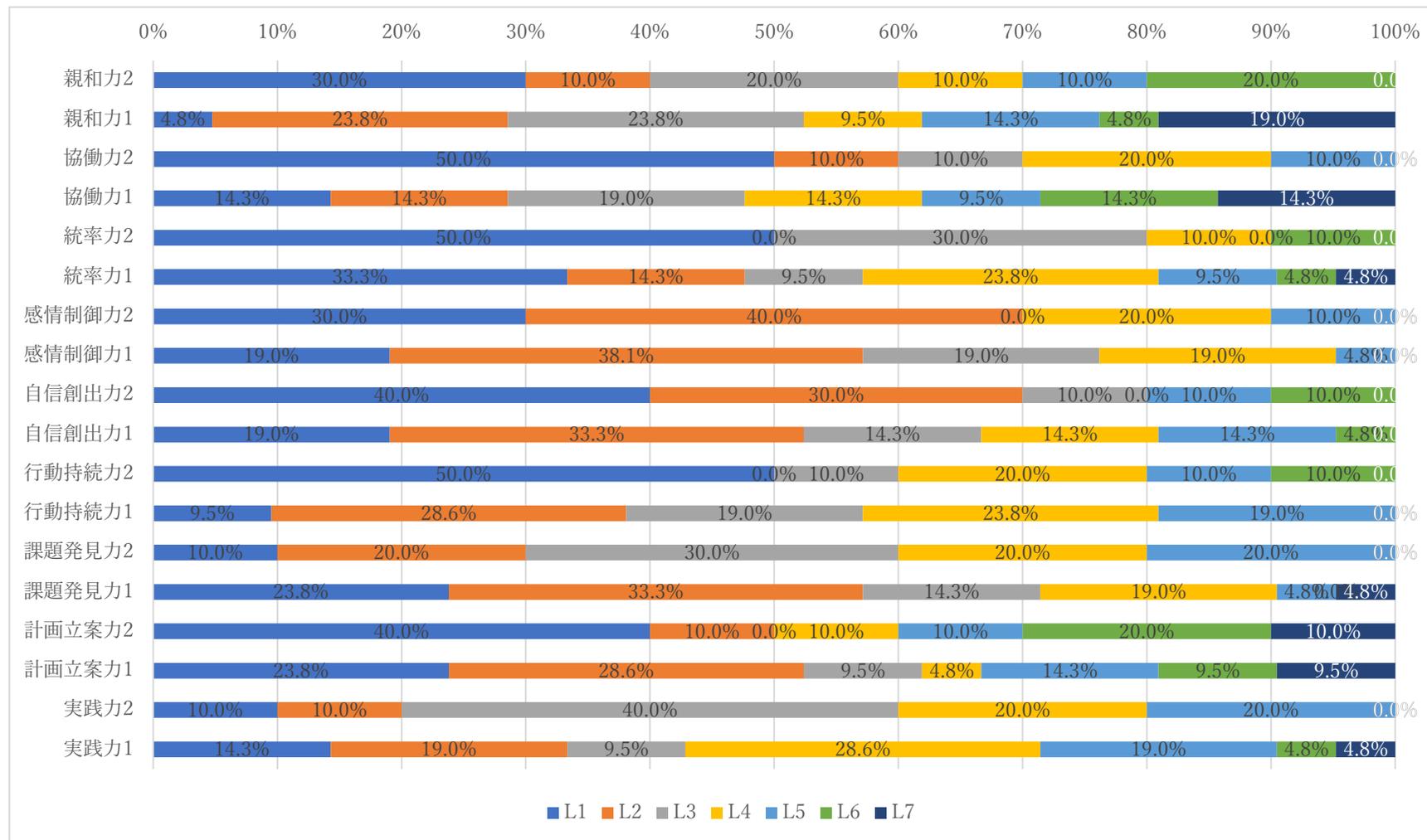
	L1	L2	L3	L4	L5	L6	L7	
総合2	5	1	2	1	0	1	0	10
総合1	6	3	6	2	2	1	1	21
対人基礎力2	6	0	0	3	0	1	0	10
対人基礎力1	4	4	2	3	6	0	2	21
對自己基礎力2	4	3	1	1	0	1	0	10
對自己基礎力1	2	9	4	3	3	0	0	21
対課題基礎力2	2	2	2	1	1	2	0	10
対課題基礎力1	3	9	2	2	0	3	2	21



【コンピテンシー・9つの要素】

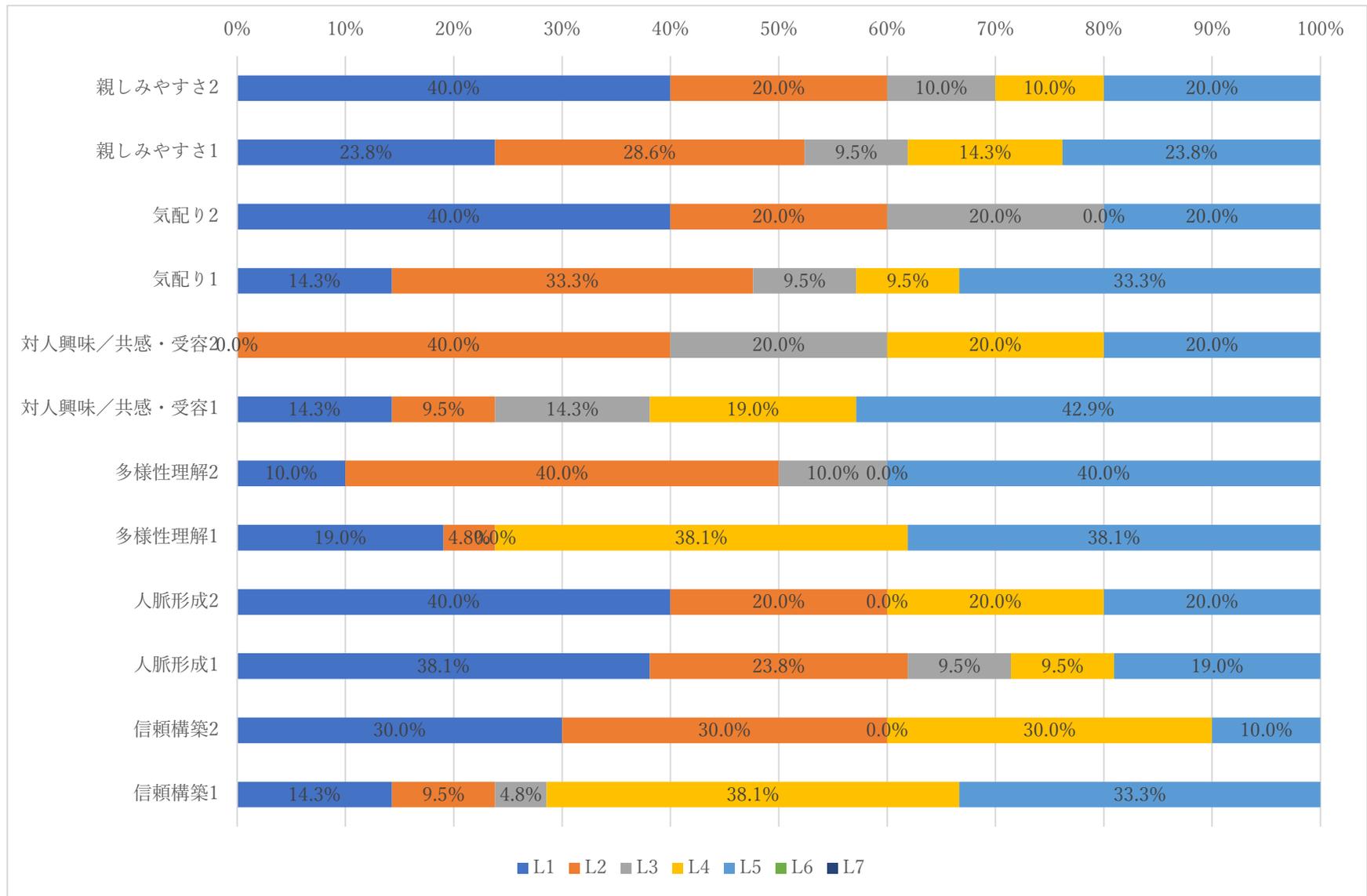
	L1	L2	L3	L4	L5	L6	L7	
親和力2	3	1	2	1	1	2	0	10
親和力1	1	5	5	2	3	1	4	21
協働力2	5	1	1	2	1	0	0	10
協働力1	3	3	4	3	2	3	3	21
統率力2	5	0	3	1	0	1	0	10
統率力1	7	3	2	5	2	1	1	21
感情制御力2	3	4	0	2	1	0	0	10
感情制御力1	4	8	4	4	1	0	0	21
自信創出力2	4	3	1	0	1	1	0	10
自信創出力1	4	7	3	3	3	1	0	21
行動持続力2	5	0	1	2	1	1	0	10
行動持続力1	2	6	4	5	4	0	0	21
課題発見力2	1	2	3	2	2	0	0	10
課題発見力1	5	7	3	4	1	0	1	21
計画立案力2	4	1	0	1	1	2	1	10
計画立案力1	5	6	2	1	3	2	2	21
実践力2	1	1	4	2	2	0	0	10
実践力1	3	4	2	6	4	1	1	21

70%以上であった。一方「課題発見力」「計画立案力」「実践力」は2年次生で低位層の割合が低く、学年進行による能力の向上が示唆された。



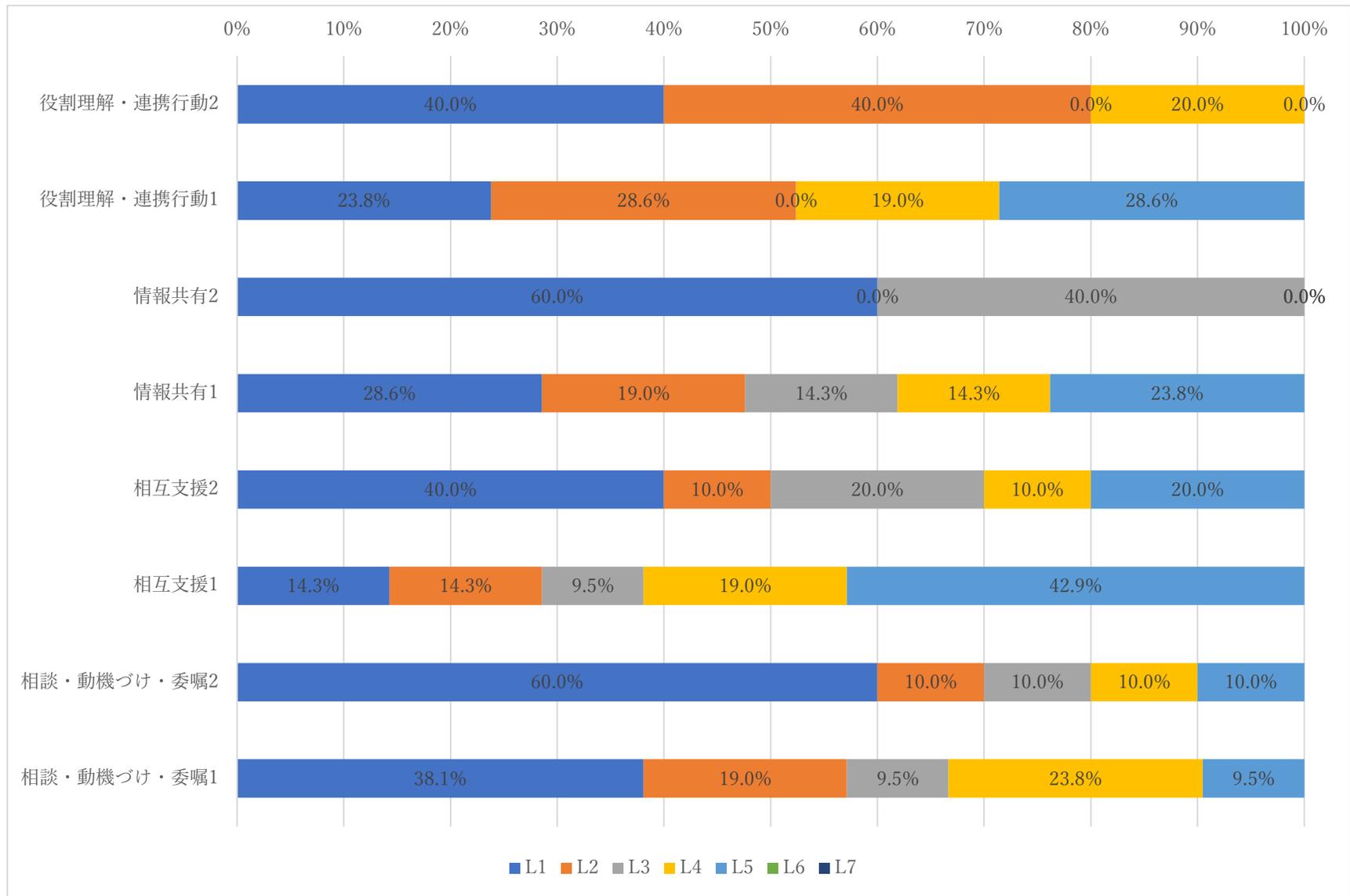
【コンピテンシー：親和力】

	L1		L2	L3	L4	L5	L6	L7	
親しみやすさ2	4		2	1	1	2	0	0	10
親しみやすさ1	5		6	2	3	5	0	0	21
気配り2	4		2	2	0	2	0	0	10
気配り1	3		7	2	2	7	0	0	21
対人興味／共感・受容2	0		4	2	2	2	0	0	10
対人興味／共感・受容1	3		2	3	4	9	0	0	21
多様性理解2	1		4	1	0	4	0	0	10
多様性理解1	4		1	0	8	8	0	0	21
人脈形成2	4		2	0	2	2	0	0	10
人脈形成1	8		5	2	2	4	0	0	21
信頼構築2	3		3	0	3	1	0	0	10
信頼構築1	3		2	1	8	7	0	0	21



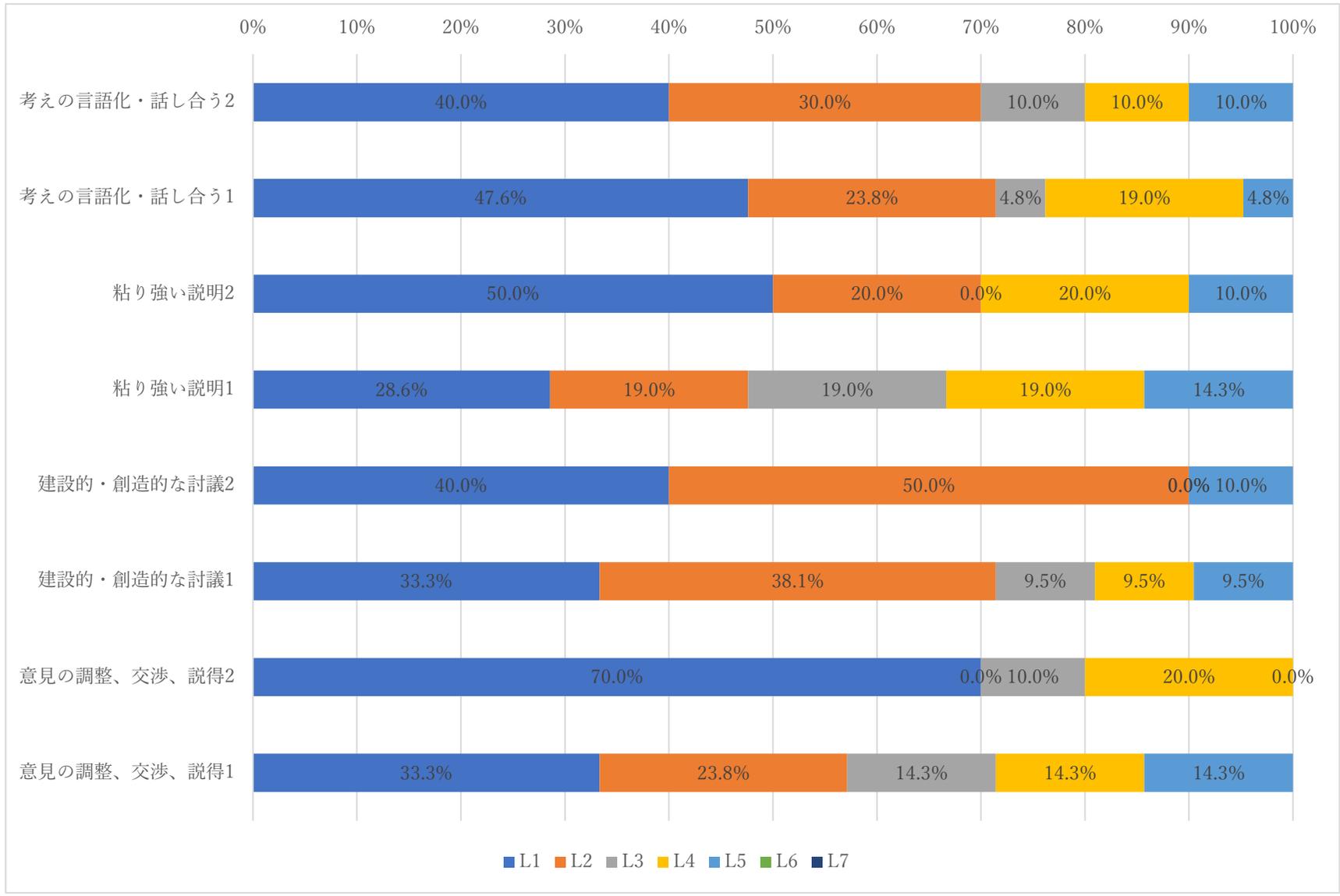
【コンピテンシー：協働力】

	L1	L2	L3	L4	L5	L6	L7	
役割理解・連携行動2	4	4	0	2	0	0	0	10
役割理解・連携行動1	5	6	0	4	6	0	0	21
情報共有2	6	0	4	0	0	0	0	10
情報共有1	6	4	3	3	5	0	0	21
相互支援2	4	1	2	1	2	0	0	10
相互支援1	3	3	2	4	9	0	0	21
相談・動機づけ・委嘱2	6	1	1	1	1	0	0	10
相談・動機づけ・委嘱1	8	4	2	5	2	0	0	21



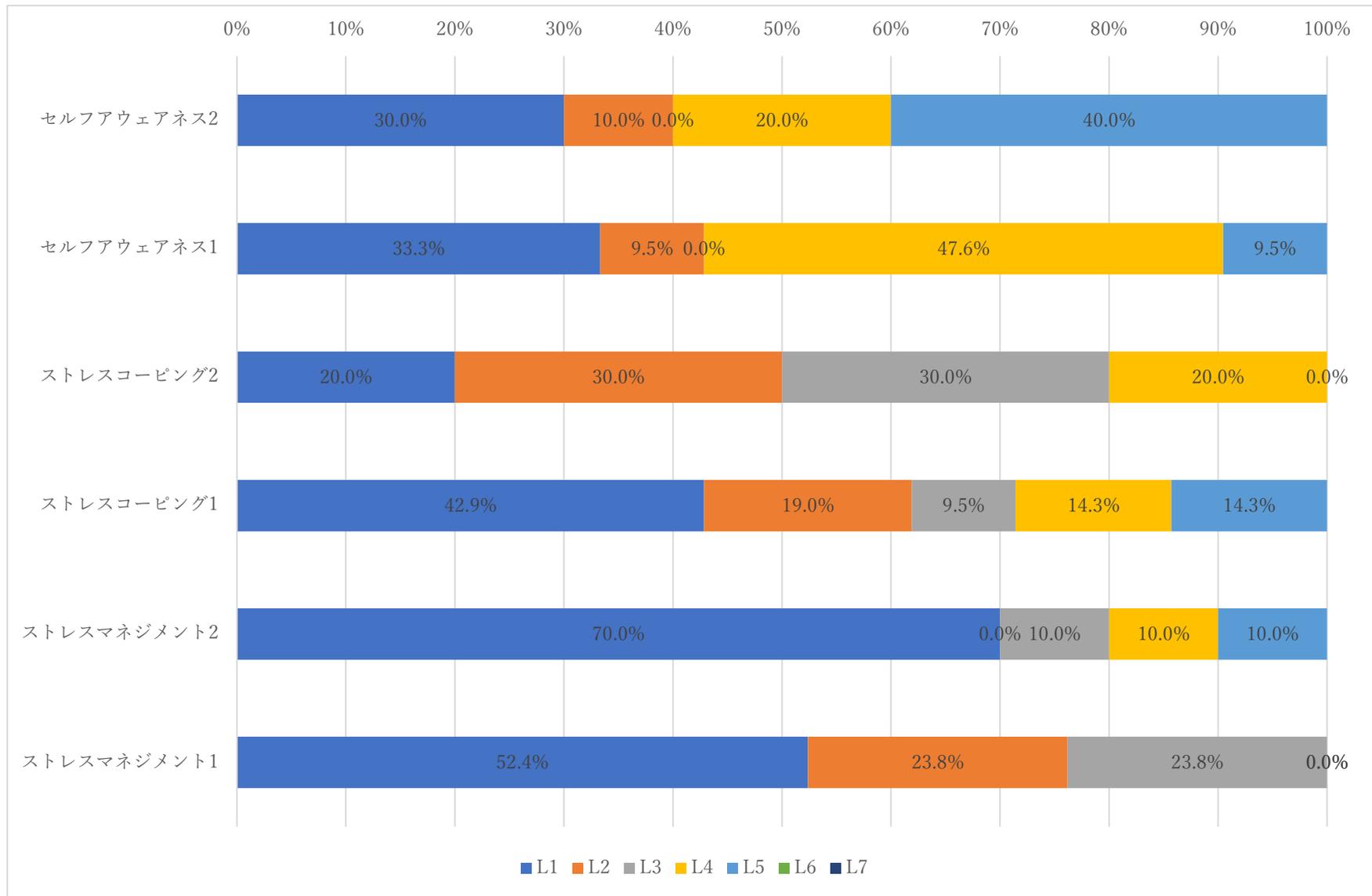
【コンピテンシー：統率力】

	L1	L2	L3	L4	L5	L6	L7	
考えの言語化・話し合う2	4	3	1	1	1	0	0	10
考えの言語化・話し合う1	10	5	1	4	1	0	0	21
粘り強い説明2	5	2	0	2	1	0	0	10
粘り強い説明1	6	4	4	4	3	0	0	21
建設的・創造的な討議2	4	5	0	0	1	0	0	10
建設的・創造的な討議1	7	8	2	2	2	0	0	21
意見の調整、交渉、説得2	7	0	1	2	0	0	0	10
意見の調整、交渉、説得1	7	5	3	3	3	0	0	21



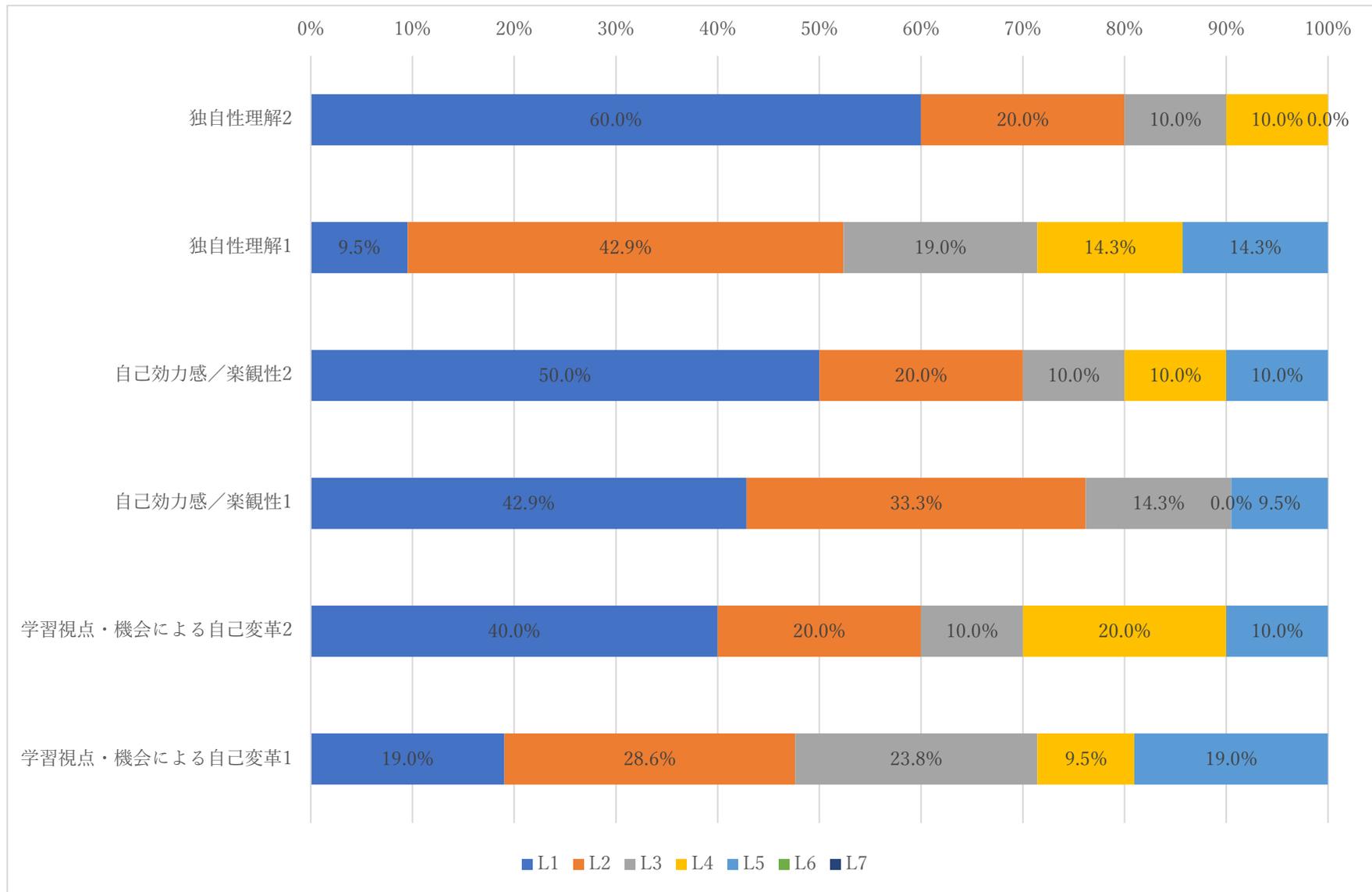
【コンピテンシー：感情制御力】

	L1	L2	L3	L4	L5	L6	L7	
セルフアウェアネス2	3	1	0	2	4	0	0	10
セルフアウェアネス1	7	2	0	10	2	0	0	21
ストレスコーピング2	2	3	3	2	0	0	0	10
ストレスコーピング1	9	4	2	3	3	0	0	21
ストレスマネジメント2	7	0	1	1	1	0	0	10
ストレスマネジメント1	11	5	5	0	0	0	0	21



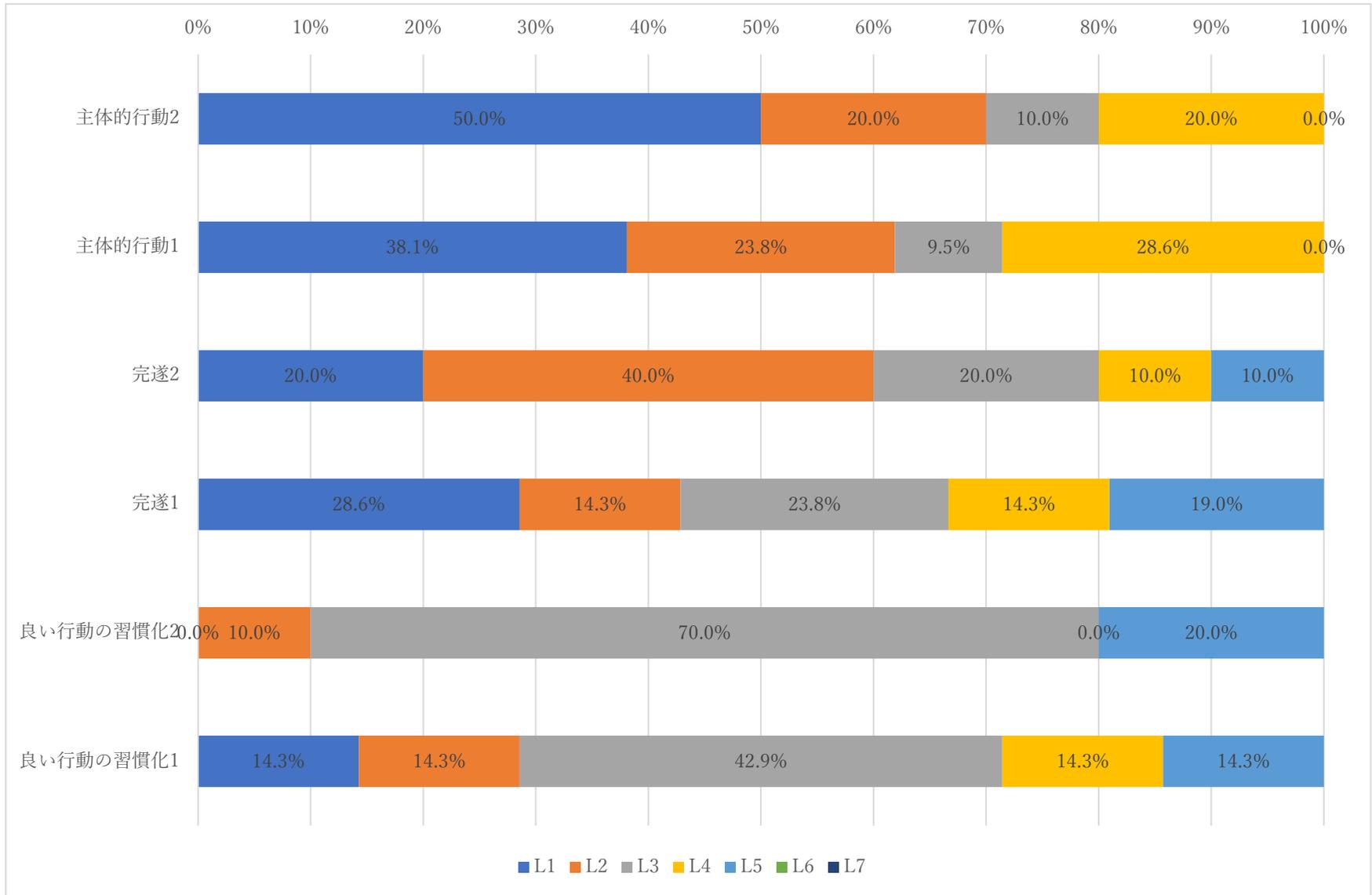
【コンピテンシー：自信創出力】

	L1	L2	L3	L4	L5	L6	L7	
独自性理解2	6	2	1	1	0	0	0	10
独自性理解1	2	9	4	3	3	0	0	21
自己効力感／楽観性2	5	2	1	1	1	0	0	10
自己効力感／楽観性1	9	7	3	0	2	0	0	21
学習視点・機会による自己変 革2	4	2	1	2	1	0	0	10
学習視点・機会による自己変 革1	4	6	5	2	4	0	0	21



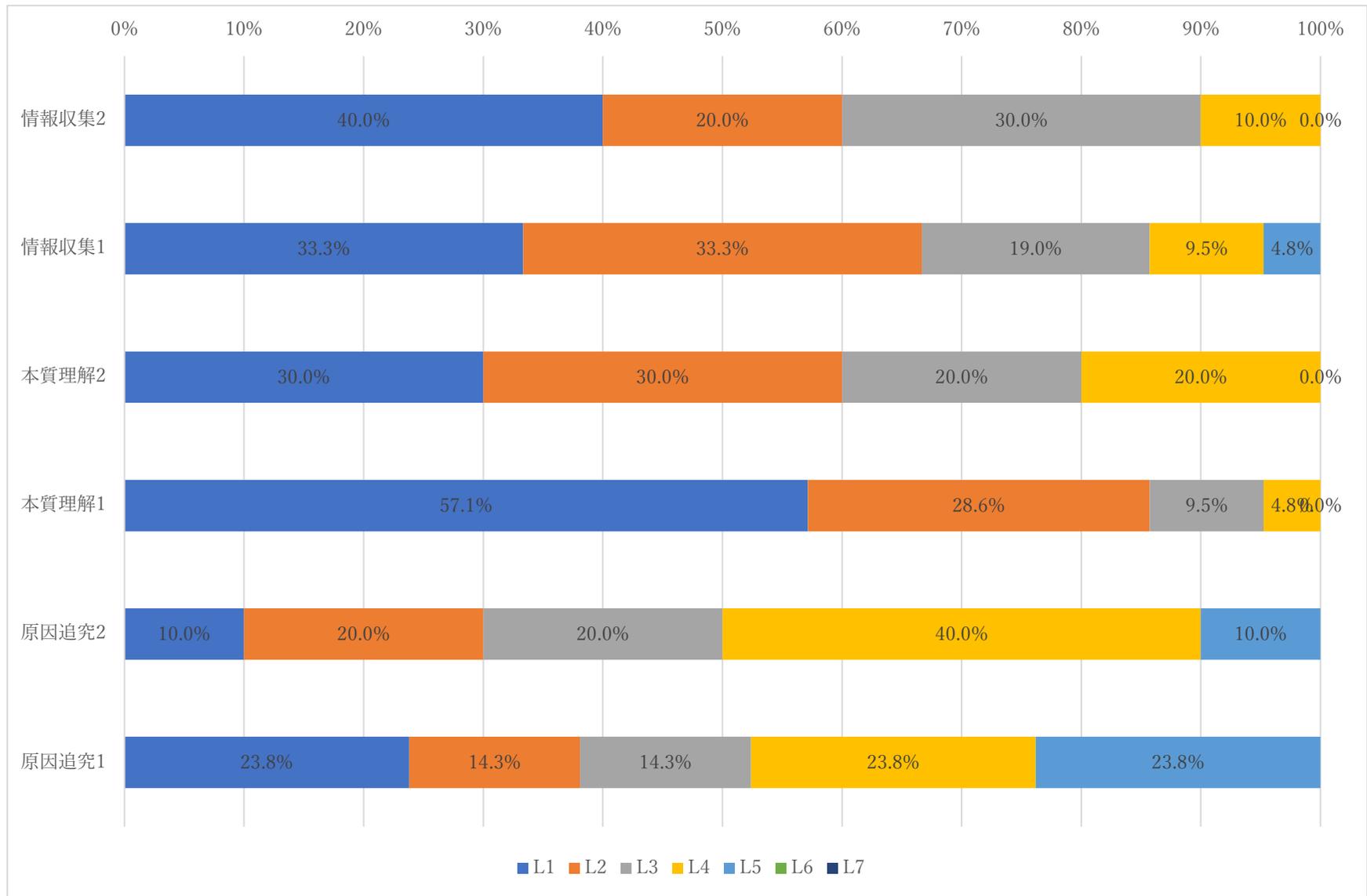
【コンピテンシー：行動持続力】

	L1	L2	L3	L4	L5	L6	L7	
主体的行動2	5	2	1	2	0	0	0	10
主体的行動1	8	5	2	6	0	0	0	21
完遂2	2	4	2	1	1	0	0	10
完遂1	6	3	5	3	4	0	0	21
良い行動の習慣化2	0	1	7	0	2	0	0	10
良い行動の習慣化1	3	3	9	3	3	0	0	21



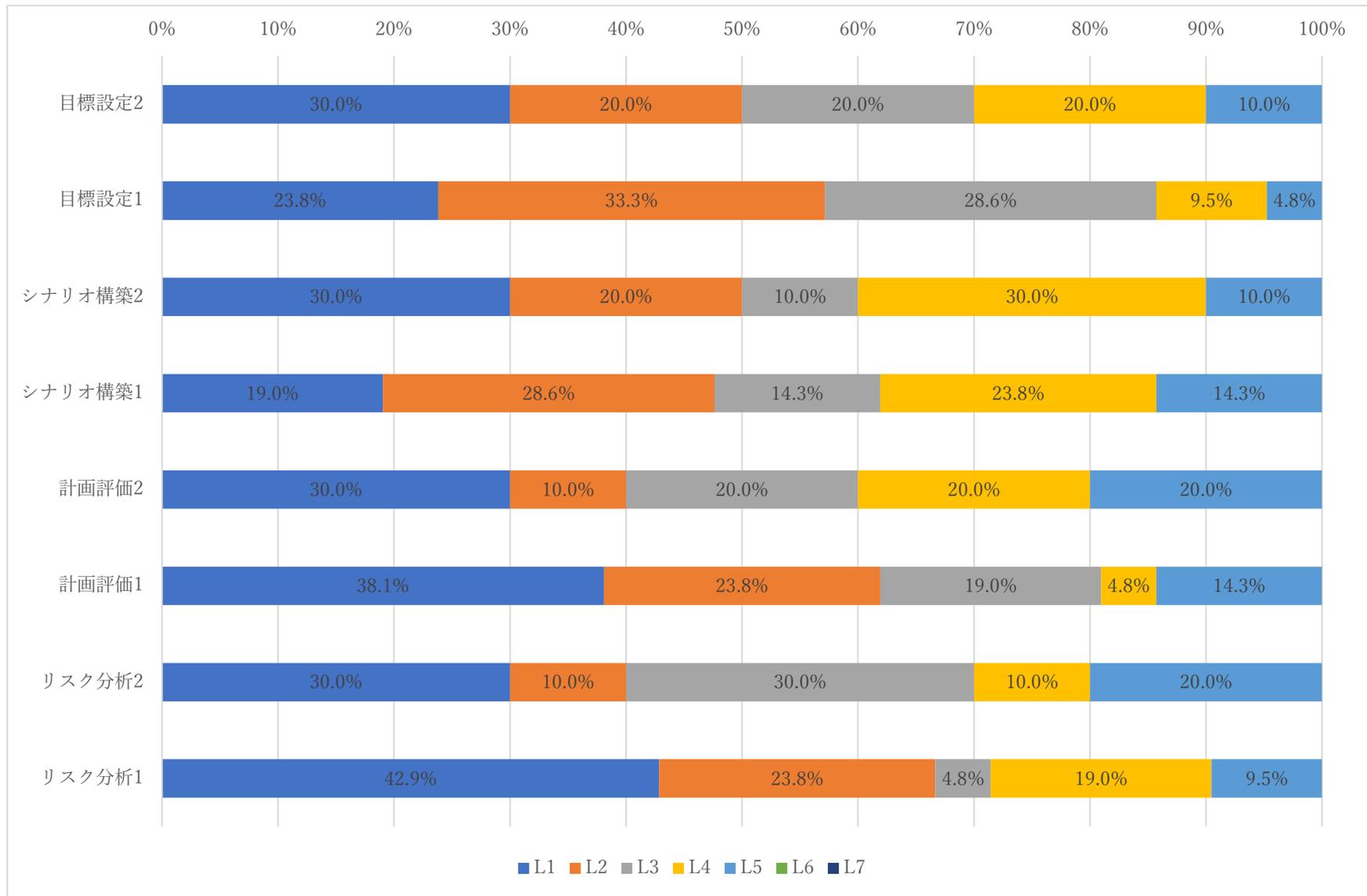
【コンピテンシー：課題発見力】

	L1	L2	L3	L4	L5	L6	L7	
情報収集2	4	2	3	1	0	0	0	10
情報収集1	7	7	4	2	1	0	0	21
本質理解2	3	3	2	2	0	0	0	10
本質理解1	12	6	2	1	0	0	0	21
原因追究2	1	2	2	4	1	0	0	10
原因追究1	5	3	3	5	5	0	0	21



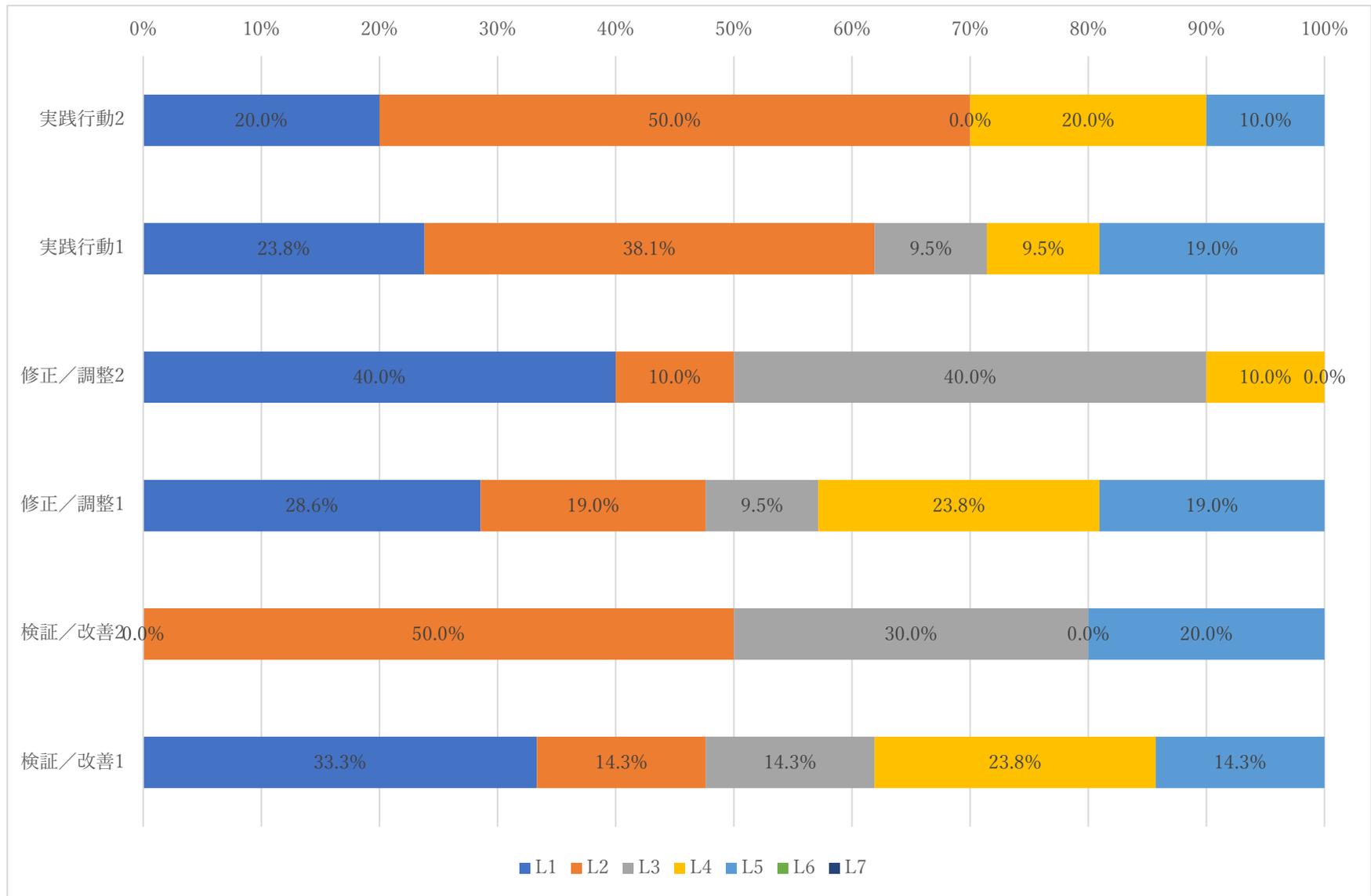
【コンピテンシー：計画立案力】

	L1	L2	L3	L4	L5	L6	L7	
目標設定2	3	2	2	2	1	0	0	10
目標設定1	5	7	6	2	1	0	0	21
シナリオ構築2	3	2	1	3	1	0	0	10
シナリオ構築1	4	6	3	5	3	0	0	21
計画評価2	3	1	2	2	2	0	0	10
計画評価1	8	5	4	1	3	0	0	21
リスク分析2	3	1	3	1	2	0	0	10
リスク分析1	9	5	1	4	2	0	0	21



【コンピテンシー：実践力】

	L1	L2	L3	L4	L5	L6	L7	
実践行動2	2	5	0	2	1	0	0	10
実践行動1	5	8	2	2	4	0	0	21
修正／調整2	4	1	4	1	0	0	0	10
修正／調整1	6	4	2	5	4	0	0	21
検証／改善2	0	5	3	0	2	0	0	10
検証／改善1	7	3	3	5	3	0	0	21



日本赤十字秋田看護大学・IR推進室

佐藤 考司（看護学部・講師、IR推進室 室長）

金谷 優輝（看護学部・助手、IR推進室 室員、IR推進室専任教員）

藤沢 緑子（介護福祉学科・准教授、IR推進室室員）

佐藤 祐介（事務局・係長、IR推進室専任職員）

完成日 令和 7年 3月 31日